

出迎え供給（高圧）における分岐用開閉器の 取扱い変更について

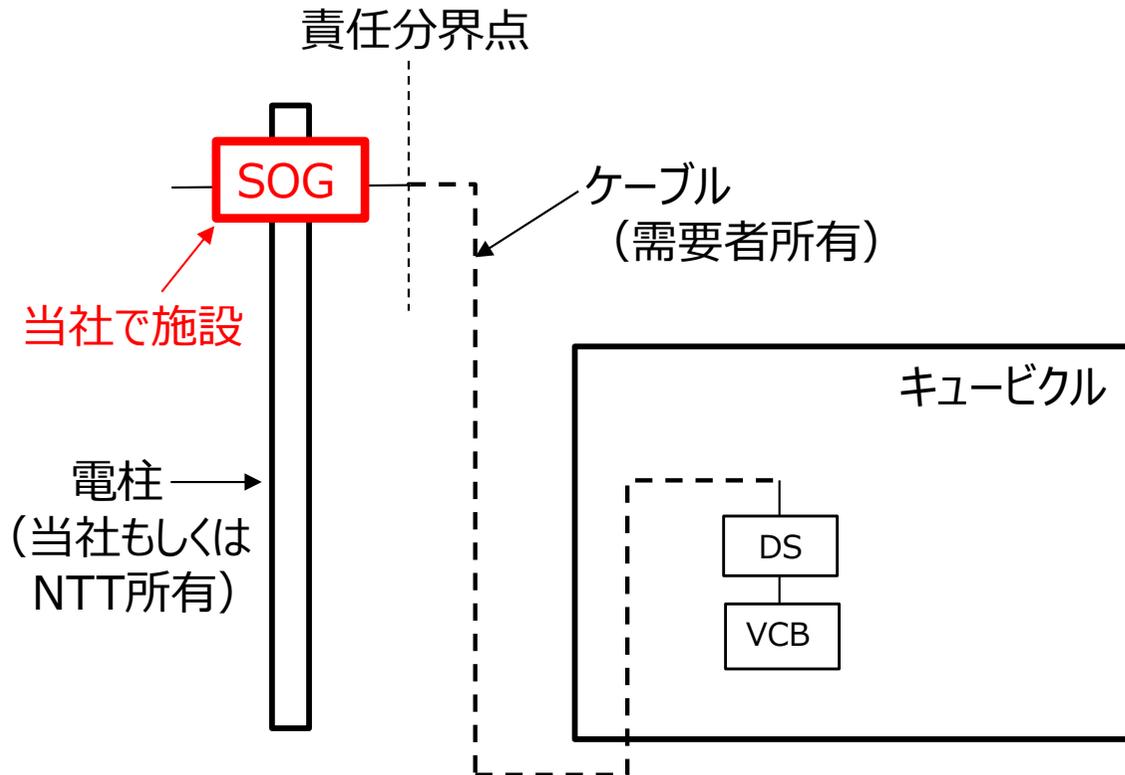
2024年10月31日

北海道電力ネットワーク株式会社
配電部

高圧電力の「出迎え供給」の場合、当社が地絡保護装置付き開閉器（SOG開閉器）を電柱に施設し、自家用電気工作物を保護していました。

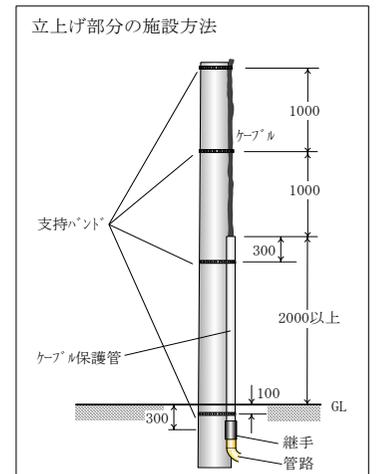
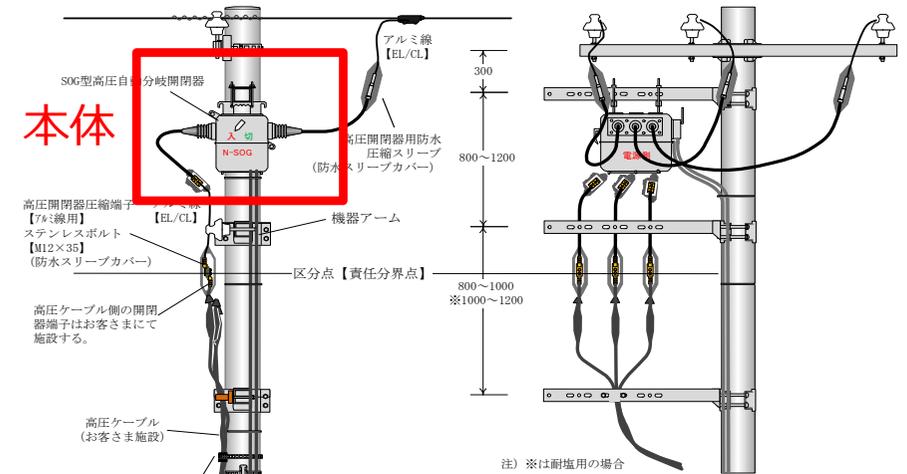
<出迎え供給>

- ・当社電柱にお客さまケーブルを出迎えて供給する。
- ・当社がSOG開閉器を施設することで、自家用側では地絡保護装置を施設しないケースが多い。



<地絡保護装置付き開閉器 (SOG開閉器)>

SO (過電流) G (地絡) 検出機能あり



<SOG開閉器施設の経緯>

1990年～

- ✓ 「高圧受電設備指針」改定により、地絡遮断装置の施設が義務化。
- ✓ 自家用（非自家用）波及事故防止への協力という観点から、出迎え供給においては当社でSOG開閉器を施設。

<全国大の状況>

「出迎え供給」において、SOG開閉器を標準的に施設しているのは当社のみ。

- ✓ 地絡遮断装置の施設が義務化されてから30年以上が経過し、自主保安が原則となっている現在において、自家用波及事故も大幅に減少しており、当社でSOG開閉器を取り付ける意義が薄れている。
- ✓ 全国的にも当社のみでの運用であり、他需要者との公平性にも欠ける。



**2023年10月1日お申し込み分から、
「出迎え供給」における分岐用開閉器は、SOG開閉器から手動開閉器に変更いたしました。
(地絡遮断装置は需要者側で施設)**

4. 取扱い変更のお知らせ

本件につきまして、昨年2023年7月に当社ホームページやDM（チラシ）にてお知らせしております。

<当社ホームページ>

ほくでんネットワークからのお知らせ 2023年度
出迎え供給（高圧）における分岐用開閉器の取扱い変更について

2023年7月4日

高圧の電気使用申込（新設）の出迎え供給^{※1}に係る取扱いについて、架空引込線供給との公平性確保の観点から、以下のとおり、当社で施設する分岐用開閉器をSOG開閉器（地絡遮断機能あり）から手動開閉器（地絡遮断機能なし）に変更することとしました。本取扱い変更は本年10月1日以降のお申込み分^{※2}を対象として実施します。

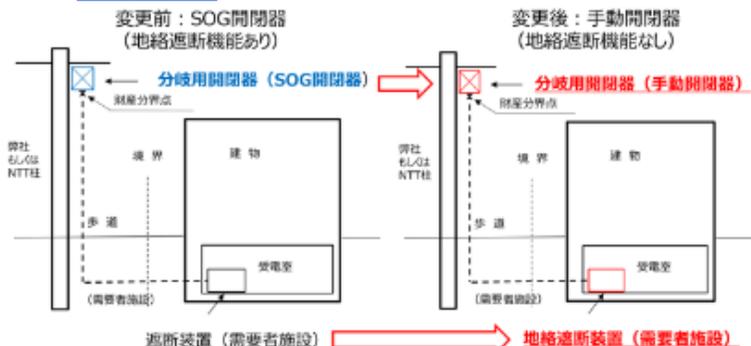
つきましては、上記変更にもとない、高圧受電設備規程（JEAC 8011-2020）の11110-4にもとづき、需要者の設備内に地絡遮断装置を施設していただくこととなりますので、お知らせします。

なお、本内容につきまして、ご不明な点がございましたら、当社の高圧受付窓口である「業務部カスタマーサービスセンター」までご連絡をお願いいたします。

※1 需要者において、当社もしくはNTT柱に施設される当社の分岐用開閉器に需要者資産のケーブルを接続する引込方式。

※2 9月30日までのお申し込みで、2024年度内（2025年3月末まで）に供給開始される場合は、従来通りSOG開閉器を施設します。

1. 変更内容（分岐用開閉器）



2. 添付資料

☑ 出迎え供給（高圧）における分岐用開閉器の取扱い変更について（チラシ） [PDF:414KB]

<お問い合わせ先>

北海道電力ネットワーク株式会社 業務部カスタマーサービスセンター
Email: csc-kouatunsc@hepcoc.co.jp

<DM（チラシ）>

ほくでんネットワーク

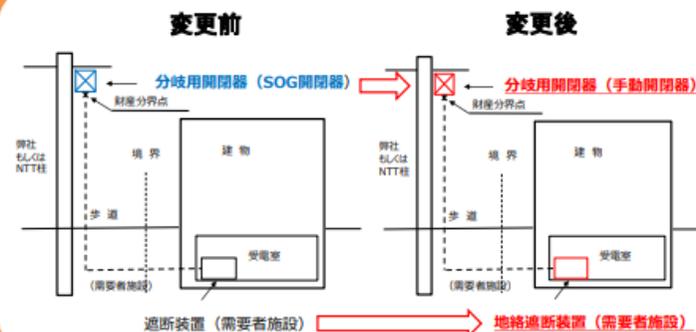
出迎え供給（高圧）における分岐用開閉器の取扱い変更について

2023年10月1日お申し込み分から※これまで弊社で施設しておりました分岐用開閉器は、**SOG開閉器から手動開閉器に変更**となります。

以降、地絡遮断装置は、需要者様において、需要者様の設備内に施設していただくこととなります。

※2023年9月30日までのお申し込みで**2024年度内**（2025年3月末まで）に供給開始される場合は、従来通りSOG開閉器を施設します。

変更内容



■ お問い合わせ先

北海道電力ネットワーク株式会社 業務部カスタマーサービスセンター
E-mail: csc-kouatunsc@hepcoc.co.jp

※現在、業務部カスタマーサービスセンターへの電話がつながりにくっております。大変恐れ入りますが、お問い合わせはメールでいただきますようお願いいたします。

※業務部カスタマーサービスセンターの電話等によるお問い合わせおよび窓口業務の時間は、9～12時、13～17時となります。

なお、土・日曜日、法律で定める国民の祝日および休日、12月29日～1月3日については、休業とさせていただきます。